

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	I 理念に基づく運営			
	1. 理念の共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域で暮らすことの大切さを理解し、グループホームとしての役割を考えた理念ととらえつくり上げている。	○	地域の中にとけ込む為に、隣近所の方とは馴染みの関係をつくっており、散歩や外出時は挨拶を気軽にしていき、地域の方にここで生活していること知っていただく様さらに取り組んでいる。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は理念を共有するため、意識づけていくよう唱和をし、形だけでなく常日頃よりサービスの場面(言葉かけ、態度、記録等)の中で利用者の方を尊重し、信頼され安心して生活が遅れるよう実践していつている。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	事業所を訪問された方が視野に入るように玄関・リビング・事務所に掲示しており、毎月発行の通信にも理念を書き入れてご家族にも事業所の考え方をお伝えしている。	○	地域の方が行事に参加されたとき等にも当事業所の考え方(理念)を説明し、浸透させていきたい。
	2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所の方と日頃より気軽に挨拶を交わしており、家になった果物持ってきていただいたり、つくりすぎたからとご飯をいただいたり、又、駐車場を貸し借りしたりお互い助け合いながら日常におつきあいをさせていただいている。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に今回入り、回覧板も回していただき、事業所主催の納涼祭に来ていただいたり、地域の行事に参加したりしている。その時ホームの紹介をしてグループホームに対する理解や協力を得られるよう交流に努めている。	○	住み慣れた地域で暮らしていくことの重要性を認識しており、地域の中で助け合いながら生活できるよう取り組んでいきたい。
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	事業所が積み上げてきた認知ケアと、時間が許せば地域の高齢者に何か役立つことがないかを話し合っている。	○	事業所の場所を提供したりもして何か喜ばれることを計画していきたい。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいる項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者は、自己評価及び外部評価を実施する意義を職員に説明し、前回の評価を活かして改善できることは直ぐに実行に移し、具体的な改善に取り組んでいる。	○	玄関センサーの音量調整は業者に相談中ですが、現入居者の状況から安全面も考えリスク防止にもつながっている為更に検討していきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で事業所の取り組み状況を報告し、率直な意見を出して頂くよう伝え、そこでの意見をサービス向上につながっていくよう取り組んでいる。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行事の時等に担当者の方にも参加していただくよう声かけしている。今年はお家族・地域の方・市町村の担当者の方にも納涼祭に参加していただいて地域との交流の取り組みを見ていただいた。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	外部の研修会に参加し、パンフレット等をホームに備え、入居時や現在該当者はおられないが、必要な方には説明が出来るよう準備している。		
11	○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者・職員は高齢者虐待防止について正しく認識しており、利用者に虐待が一切行われないう職員間でもお互い見過ごされる事のない様注意を払っている。		
	4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約時には契約書等を渡し文書と口答で十分説明をし、ご本人、ご家族の方に不安、疑問点を尋ねて頂き納得していただくよう努力をしている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃より何かあれば管理者や職員に話してもらおうよう伝えており、又運営推進会議に利用者を変て出席していただき意見をもらっている。それを運営に反映させている。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の暮らしぶりや健康状態、職員の異動等は、ご家族が訪問されたとき個々にあわせた報告をしている。又、定期的にお手紙でも報告している。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置しており、苦情相談窓口のポスターもわかりやすいところに掲示している。入居者やご家族に折に触れご意見・相談等があれば遠慮なく言っていただくよう伝えている。	○	運営推進会議の議題にも取り上げていくよう取り組んでいる。又、無記名アンケートも検討していきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営者・管理者は職員と理念を踏まえた上で、共通の価値観や方針を持つためにも、十分話し合い連携を取り、互いの意見を尊重しサービスに反映している。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	1ユニットで職員が少人数の中でも、状況(外出時・利用者、家族の状況の変化等)に応じ、人数の調整をするなど柔軟な対応をするよう努めている。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職の理由が事業所にある場合は、出来ることは改善に努めており、利用者が安心して馴染みの関係が継続出来るよう努め、代わる場合はダメージを最小限にする配慮を個別にしている。	○	職員間のチームワークが良好であれば、利用者へよりよい影響を与える事も十分理解しているので、更にチームワークがまとまるよう取り組んでいきたい。
	5. 人材の育成と支援			
19	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の募集、採用にあたって性別・年齢は制限していない。働く職員に能力を發揮出来るような係りを担当してやり甲斐を持って活躍してもらっている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
20	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、利用者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	利用者に対する人権を尊重するために、職員等に対して会議・カンファレンス、又実践を通じて常日頃より話をいき啓発活動に取り組んでいる。		
21	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員を段階に応じて外部研修を受講してもらい他職員にはそれを内部研修や会議等で資料を渡し伝達し、働きながらトレーニングしていく流れをつくっている。	○	現在教育プログラムに沿って段階に応じた内部・外部研修をしていくよう取り組んでいる。
22	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者・管理者は職員が地域の同業者と交流出来るよう、研修会に積極的に参加してサービスの質の向上に向け取り組んでいる。		
23	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	運営者・管理者またはリーダーが職員の抱えている問題を聞き、気兼ねなく話し合える雰囲気を作るよう親睦会等の機会を作っている。又、気晴らしが出来るよう環境づくりに取り組んでいる。		
24	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者は管理者や職員に個別に適した役割を持ってもらい、職員の努力や実績を認めやり甲斐をもって働けるように取り組んでいる。		
	II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談から入居までの間、本人とも面談をし、場合によっては自宅や入院先に訪問し、不安や要望を聞き少しでも不安を取り除いて入居につなげている。		
26	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談から入居までの間、納得が行くまで何度も話をする機会をつくり見学もしていただき納得されてから入居につなげている。入居後の初期段階も家族と密に連絡を取り合っている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けたとき、本人と家族によって現在必要としている支援を見極め、他のサービスが適切と思われたら他のサービスを進めたり、相談機関の紹介をしている。		
28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学をしてもらい、職員や他の利用者の方とも接して頂いたり、場合によっては体験的に入所していただく場合もある。個室なのでプライバシーの確保が出来ることも安心していただけるよう話している。		
	2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は本人を介護される一方の立場におかず、お互い支え合う関係をつくり、入居者間でも支え合う場面がよく見られ喜怒哀楽を共にしていることを築いていっていると感じる。	○	利用者が主体となり職員がそれを支えていく関係をつくれるように更に取り組んでいきたい。
30	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人を中心に職員と家族とが共に協力して支えていく関係を築いていっている。		
31	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の普段の生活ぶりをお話することにより、本人と家族がお互い理解しよりよい関係が築けるよう支援している。		
32	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が今まで大切にしてきた馴染みの方がいつでも訪問したり、電話で応じたり、又出かけられる様支援に努めている。		
33	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者間の関係を把握し、レクリエーション等を通じて孤立せず双方の関係が悪化しないで支え合えるよう支援に努めている。	○	利用者同士の良好な関係を支援出来る様、職員一同今後さらにチームワークをもって啓発活動に取り組んでいきたい。
34	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービスが終了しても継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、何かあれば相談していただくよう伝えている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握			
35	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの生活習慣を把握し大切にして、希望や意向にそうよう努めている。また、困難な場合は、本人本意に検討している。		
36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個々の以前の経験を暮らしの中に活かして、その力を発揮してもらえうる様に、一人ひとりのバックグラウンドの把握に努めている。		
37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居者の個別のペースに合った生活のリズムを尊重し、一人ひとりの現状の日々の過ごし方、心身状態、有する力等を総合的に把握するように努めている。		
	2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族、必要な関係者と話し合い、又主治医に助言を求めたり、一人ひとりのその時の状態にそった具体的な介護計画を立てている。		
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月1回以上は検討会議を行っており、変化が生じた場合臨機応変に話し合い現状に即した新たな計画を作成している。		
40	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に日々の様子やケアの実践・結果・気づきや工夫を記録し、職員間で情報を共有しながら実践していている。また変化に応じ介護計画の見直しにも活かしていている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、馴染み関係を大切にしながら事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族のその時々々の状況に応じ、外泊や外出また泊まっていたり等の柔軟な支援をしている。		
	4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	入居者の生活の安定や拡充の為、地域の交番所や消防署、外食に利用しているレストラン等にも事前に電話を入れるなど協力を得られるよう働きかけている。		
43	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	本人や家族の意向や必要性に応じて、他のサービス事業者と連携をとっている。		
44	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今までは無かったが、今後あれば、必要性に応じて本人や家族の意向で、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働していくようにする。		
45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族と相談し希望する医療機関を受診し、又なければ適している医療機関を紹介し受診していただいている。納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら適切な医療を受けられるように支援している。		
46	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知専門医療のものわすれ外来を受診しており、電話で相談もでき、主治医から家族や職員にも指示助言をしていただいている。緊急時は土日・夜間も対応していただいている。		
47	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	かかりつけ医の利用者をよく知る看護師に日常の健康管理等相談をしている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	家族・医療機関と情報交換を密にして自立支援の為、早期退院に向けた支援をしていっている。又、日頃よりそうした場合に備え連携をとっている。		
49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期を早い段階から本人や家族と事業所が支援できる体制を話し合い、場合によってはかかりつけ医とも相談し全員で方針を共有している。		
50	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	今後必要に応じて、重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「出来ること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組む準備をしていっている。		
51	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入退居の前後には、入居者が「移り住むことのダメージ」を最小限に食い止めるために、家族等はもちろんのこと本人にかかわる保険医療福祉の関係者と十分な情報交換と話し合いを行っている。		
	IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者の方に尊敬の念をもっており、介助するときには、プライバシーを損ねないよう配慮して行っている。個人情報に関しても常に話をしており個人情報保護規程に遵守し、誓約書も書いている。		
53	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	自己決定する場面をつくり、自分で決めていただく機会をもっといただくよう支援を行っている。		
54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側のスケジュールにあてはめるのではなく、またせかすような声かけをせずに見守りながらできるだけ自由に希望の生活スタイルにあわせた支援を行っている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	行きつけの美容院にご家族と一緒にいられている。又、行けない方は、希望により理美容院の出張サービスにきていただき、入居者の要望の髪型や顔そり等をしていただいている。		
56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の好みを聞き、献立に活かしたり又、プチトマトの菜園を入居者が主となって作り、献立の一品にそえたり、下準備にもその方の能力に応じて参加していただき食事が楽しいものになるよう働きかけている。		
57	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	個人の冷蔵庫に好みのおやつ・飲料を入れ自由にされている。管理の難しい方は、水分不足にならないよう配慮し、全員に好みの飲料とおやつを日に1~2回出し、皆さんで談話しながら楽しめるようサポートしている。		
58	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を記録しており、排泄の自立に向けて排泄の間隔や兆候にあわせて前誘導を行う等の支援をしている。また、はずせる可能性を意識して取り組みをしている。		
59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一応の曜日や時間帯は決まっているが、日曜以外入浴日なので希望や体調に応じて入浴をしていただいている。		
60	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣を把握し、その時々状況に応じて自室でくつろいだり休んで頂いたりしている。安眠できるよう医師と相談しながら調整していている。		
	(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	その方の能力に応じた役割や、趣味を活かしたレクリエーションをとりいれたりして、メリハリがあり安心して生活出来るよう支援をしている。	○	主役は利用者なので、職員がサポートし利用者が楽しんで主体的になれる場面をもっと増やすように取り組んでいきたい。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
62	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	紛失等の不安をかかえる要素となるので、お預かりしているが外出時には自分で支払うなどの場面もつくるようにしている。持っていることで安心のかたは少額を持っていただいている。		
63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ぎずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	事業所周辺のお花の水やりや草取りは入居者の力量に応じてやっていただき、やりがいを感じておられる。散歩に関しては、季節の庭木を觀賞しながら散歩する等の支援をしている。	○	一人ひとりの希望にそって努力はしているが、すべてをかなえるのは困難であるが、出来る限り希望に沿えるよう取り組んでいきたい。
64	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	一人ひとりが行きたい所は出来るだけ実現できるよう、家族と協力して実現できるよう支援している。		
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	その方の力量に応じ、電話の希望があればサポートしてかけていただいたり、郵送物の発送も支援している。		
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	事業所側も気軽にご家族や親類の方、知人等が来ていただくよう伝えている。又、お茶等も出して一緒にくつろいでいただいたりもしている。		
	(4) 安心と安全を支える支援			
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員は身体拘束の弊害について理解し、身体拘束をしないケアの取り組みをしており、安全確保のためやむをえない場合はご家族へ説明し同意書を取っている。		
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及びすべての職員が、日中鍵をかけることの弊害を理解しており、見守りの強化や玄関にセンサーをするなどの工夫をしている。	○	玄関のセンサーのチャイム音が大きく外来者の来訪を阻む様な感じなので現在業者に相談しているが良い方法が見つからず検討中です。
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は本人のプライバシーを色々な場面で配慮し、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全への配慮もしている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいる項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりの希望に応じ、また危険がないかを職員・家族と話し合いアセスメント管理し、その方の力に応じた形で物品の保管・管理をしている。		
71	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	危機管理に対する知識を学び、ヒヤリハットや事故報告書も全職員に周知し、二度と同じ事を繰り返さないよう、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	○	運営推進会議でも報告をしており、統計をとって再発防止に努めていくように現在取り組んでいる。
72	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急対応マニュアルを整備しており、外部研修に参加したときは内部での研修を行い、急変や事故発生時に冷静に対応できるよう訓練を話し合っている。	○	今後更にすべての職員が冷静に対応できるよう、応急手当や初期対応の訓練を定期的に行うよう取り組んでいる。
73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時にどこからどのように避難するかを実施訓練をし、あわてずに対応できるように準備している。又、近隣の方の協力も得られるよう日頃より馴染みの関係を築いている。		
74	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	一人ひとりに起こりうるリスクを家族等に説明し、身体拘束のないケアを大前提に対応策を検討し、抑圧感のない暮らしが出来るよう支援している。		
	(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人ひとりの体調の変化や異変の早期発見に努め、その都度家族に連絡を入れ対応の相談をしている。		
76	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は一人ひとりの服薬内容は処方箋や医師からの助言等で理解しており、間違いなく服薬を見とどけ、副作用等があったときは主治医に相談している。		
77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	職員は一人ひとりの便秘の原因や便秘が続いた時の悪影響を理解しており、予防と対応のための飲食物の工夫や運動等の生活上の支援もしている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアの重要性を認識しており、一人ひとりの口腔状態を把握し、力に応じ毎食後の口腔ケアの支援をしている。		
79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの摂取カロリーを標準体重や年齢等から算出し、日頃の摂取量や残菜量や水分摂取状況等記録しており、個別の状態に応じた支援をしていっている。		
80	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対応マニュアルを備えており流患情報や退院の時等には特に注意を払い、予防接種や生活環境も予防に努めている。		
81	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒予防の為、手洗いの励行、おしぼりの使用、又調理用具も肉魚、野菜と使い分けており、使用後の消毒殺菌等の衛生管理に努めている。		
	2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
82	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関内外に花をおき、職員も笑顔で出迎え来やすい雰囲気歓迎している。		
83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は利用者の居心地のよい場所となるよう配慮し、生活感や季節感をとり入れた工夫をしている。		
84	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中でもくつろげる場所を何カ所かつくり、一人になったり、思い思いで過ごせるように狭いながらも工夫をしている。		
85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には本人家族と相談して、使い慣れた家具類を置き、冷蔵庫には嗜好品を入れ居心地よく暮らせるよう工夫している。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
86	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のとどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	不快な臭いや空気のとどみがないよう換気に努め、外気温と大差がないよう温湿度には配慮し、冬場は加湿器を使用して乾燥しないよう調整している。		
	(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして自立した生活が送れるよう家具の配置等も考え安全に生活が送れるよう工夫している。		
88	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりの残された力を発揮して達成感や自信につながるように、出来ること、出来ないことを見極め混乱や失敗を防ぐようサポートし、自立につながるよう支援している。		
89	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の周辺は狭いながらも、玄関先にはガーデニングをしたりや花壇にはプチトマト等を植えたりして活動し、収穫も楽しみながら料理に盛りつける等している。		

番号	項目	取り組みの成果 (該当する箇所に○印をつける)
v サービスの成果に関する項目		
90	○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者の 《 》②利用者の2/3くらいの 《 》③利用者の1/3くらいの 《 》④ほとんど掴んでいない
91	○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	《 ○ 》①毎日ある 《 》②数日に1回程度ある 《 》③たまにある 《 》④ほとんどない
92	○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
93	○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
94	○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
95	○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない

番号	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
96	○利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
97	○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	《 ○ 》①ほぼ全ての家族と 《 》②家族の2/3くらいと 《 》③家族の1/3くらいと 《 》④ほとんどできていない
98	○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	《 》①ほぼ毎日のように 《 》②数日に1回程度 《 ○ 》③たまに 《 》④ほとんどない
99	○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	《 》①大いに増えている 《 ○ 》②少しずつ増えている 《 》③あまり増えていない 《 》④全くいない
100	○職員は、生き生きと働いている	《 ○ 》①ほぼ全ての職員が 《 》②職員の2/3くらいが 《 》③職員の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
101	○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
102	○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	《 ○ 》①ほぼ全ての家族等が 《 》②家族等の2/3くらいが 《 》③家族等の1/3くらいが 《 》④ほとんどできていない